

# ☆☆☆コロナとわたしたち②☆☆☆

2020年11月 ねん がつ 青塚 とおる 徹

## じどう 児童のみなさんへ

がっこうせいかつ 学校生活をかくじつにつづけていくためのコツ・その12・・・落ちこんでいる友だちをはげます

みんなの前で失敗してしまったり、先生におこられてしまったりすれば、だれでも落ちこんでしまいます。がっかりして、落ちこんだ顔をしている友だちがいたら、はげましてあげたくなるかもしれません。

はげましてあげたいときは、したのような方法で、はげましてみましょう。

1. その友だちの近くに行く・・・すぐには声をかけず、近くに立ったり、となりの椅子に座ったりします。そして、ようすを観察してみます。ただとなりに座るだけでも、はげましや、なぐさめのメッセージが伝わります。

2. 声をかける・・・相手に話してもらうためではありません。「心配しているよ」というメッセージを伝えるためです。でも、話したいようなら、話をきいてください。

① 「だいじょうぶ？」と声をかけてみましょう。そして、少し待ちましょう。友だちが話をはじめたら、きいてあげてください。

話を始めなくても、しばらく一緒にいてあげましょう。そして、離れるときは、「ぼく(わたし)にできることがあったら、言ってね」と、声をかけましょう。

② 「この前、算数の問題教えてもらって、助かった」など、その友だちのいいところを、伝えてあげましょう。そして、「休み時間、また算数教えて」など、友だちの自信が戻るような誘いを、伝えてみましょう。

参考：相川充・猪刈恵美子（著）「イラスト版子どものソーシャルスキル・友だち関係に勇氣と自信がつく42のメソッド」合同出版

